

実施計画事業名		農業生産基盤整備事業		評価対象年度	平成 23 年度			
評価担当部署		建設産業部 農政課		課長(主幹)名	相馬 義則			
総合計画体系	分野	5	産業振興					
	政策	1	自然を活用した産業の体質強化					
	施策	2	安全・安心な農畜産物の供給に努めます					
	関連施策							
現状と課題	低位生産性草地の整備、畜産生産施設整備、機械器具の大型化による農道整備等を総合的に実施し、効果的な地域畜産の安定させる。							
目的	本市の農業の生産力を高め、安定したゆとりのある農業経営を確立し、国際競争に負けない安全・安心な農畜産物を供給できる農業を創造する							
施策展開の	生産性向上によるコスト低減を図り経営を安定させる為、草地造成・草地改良・生産施設等の基盤整備を推進する。また、生産物の輸送の円滑化・効率化を図り、生産環境と生活環境を向上する為、農道の整備に努める。(草地造成改良整備・畜産施設整備・農道整備等)							
成果指標	名称		単位		22 年度	23 年度	25 年度	
	草地基盤整備面積		ha	目標	628.05	99.20	-	
説明	各整備事業で整備を行った草地の面積			実績	374.00	384.44		
活動指標	名称		単位		22 年度	23 年度	25 年度	
	受益農家戸数		戸	目標	201	168	20	
	説明	各整備事業を要望した農家の戸数		実績	84	82		
	施設整備数(牛舎)		棟	目標	3	2	-	
	説明	各整備事業で整備された牛舎の数		実績	1	1		
	施設整備数(バンガーサイロ)		基	目標	3	3	-	
	説明	各整備事業で整備されたバンガーサイロの数		実績	2	1		
道路整備延長		m	目標	845	418	-		
説明	各整備事業で整備された農道の延長距離		実績	485	523			
事業費の実績		単位	22 年度 (決算)	23 年度 (評価年度決算見込)	24 年度 (予算)	備考		
	直接事業費(A)		千円	97,135	199,748	84,323		
	国庫支出金		千円	0	0	0		
	道支出金		千円	9,486	9,159	11,721		
	起債		千円	13,100	15,500	0		
	その他		千円	70,905	163,493	60,979		
	一般財源		千円	3,644	11,596	11,623		
	この事業にかかる職員数		人/年	0.85	0.54	0.54		
	人件費(B)		千円	5,772	3,755	3,755		
計(A+B)		千円	102,907	203,503	88,078			
状況変化	実施計画当初(平成21年～)からの状況変化 沼川北部地区畜産担い手育成総合整備事業及び稚内地区道営草地整備事業の事業費が繰り越されたため、平成22年度に比べほぼ倍の事業費となった。							

【1次評価】

成 果	成果指標の単年度の目標値は達成できたか(単年度の目標値がない場合は、長期的な目標値を達成できそうか予測)
	a a 目標達成 b ほぼ目標どおり c 目標達成できず(目標値と大きな差がある) <cの場合は、なぜかを分析して記入する> 本年度の実績が大幅に上回っているのは、前年度から繰り越された事業があったことが最大の要因である。各整備事業は、個々の農家の整備に対して国、道、市町村が補助を行いながら進める性格のものだが、農家の負担も伴う。生産資材や配合飼料の高騰が続く状況もあり、整備要望を取り下げた農家もあったが、地域から要望のあったものについては100%実施することができたので目標は達成できたものと捉えている。
細 事 業 の 構 成 ・ 進 め 方	細事業の改廃や新規細事業の必要性はないか
	a a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
成 果	各細事業の進め方について、市民との協働、他団体等との役割分担の見直し、環境への配慮など、改善の必要性はないか
	a a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
コ ス ト 効 率	無駄なコストが発生していないか、投入した予算や人員に見合った効果が得られているか
	a a 問題なし b 改善の余地がある <bの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
総 合 評 価	A 概ね問題なし
	<A~C判定を受けての今後の方針、問題点に対する改善策などを記入する> 豊別地区、国営農地防災の草地整備については平成23年度で終了、また、稚内地区道営草地整備事業、沼川北部地区畜産担い手育成総合整備事業については、平成24年度で終了予定であるが、新たに沼川南部地区畜産担い手育成総合整備事業が始まる予定である。草地整備改良は生産コストの低減につながられるものであることから、酪農畜産経営の安定化を図るためにも、継続して基盤整備を進めていく。

【2次評価】

成 果	a	細事業の構成	a	細事業の進め方	a	コスト効率	a
総 合 評 価	A 概ね問題なし <2次評価者の視点からコメントを記入する> 1次評価のとおりとする。						

【内部評価委員会】

意 見	
--------	--